

花と緑のネットワーク通信



No. 3 (2010年4月1日発行)

春～芽吹きがやってきました

春の訪れが近づくにつれて、事務局には、タウンガーデナーのみなさんから、さまざまな情報が寄せられています。まるで木々の芽吹きのようなワクワクと元気がでる情報です。

たとえば、あるガーデナーの方からは、近所の道路縁に花を植えることになった、という一報が届きました。その方は、行政に働きかけて道路縁の緑地帯の使用許可をとり、タネや育苗資材の支援情報を見つけ出し、近所の人に呼びかけて一緒に取り組んでくれる仲間を募り、団体を立ち上げました。電話越しに伺った「春が待ち遠しい」という言葉が、楽しそうな声の響きとともに、耳に残っています。

ほかにも、近所の草だらけの空地进行を花壇にしようと準備を続けている人や、公園の花壇づくりの仲間たちといっしょに団体をつくり、活動を充実させて、さらに新しい仲間を増やしていこうという人もいます。いつかこの紙面で詳しくご紹介をさせていただきます。


そして事務局では、みなさんの情報に背中を押さ

れつつ、少々頭を悩ませながら、春からの活動の準備を進めてきました。簡単にご紹介します。

まず、新しい取り組みとしては、タウンガーデナーのみなさん同士の交流を目的とした地域交流ワークショップを開催します。市内を6～10程度の区域に分け、それぞれの区域で3～4回程度のワークショップを行ないます。タウンガーデナーのみなさんが、お互いの関心や活動を知り合い、地域の魅力や課題を発見する機会にしたいと思います（初年度は3ヶ所で開催予定）。

花ざかりの北海道立林業試験場に、バスを仕立てて見学ツアーに行っちゃおう、という計画もたてています。「花と緑のネットワーク」の活動を広く知ってもらうためのリーフレット発行も準備中です。もちろん、これまでも行なったような、花と緑のまちづくりイベントや、園芸の知識や技術を習得するための講座も開催します。詳しい情報は、参加者募集などの準備が整い次第、随時会報やホームページを通じてお伝えしたいと思います。活動の芽をいっしょに育てて行きましょう。

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 (2010年4月1日現在)

さっぽろタウンガーデナー (206名)				花と緑のボランティア団体 (15団体)
中央区	20名	北区	40名	グリーンエプロンズ
西区	12名	東区	36名	AMAサポーターズ倶楽部
豊平区	15名	南区	17名	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会
白石区	7名	厚別区	26名	ゆめガーデンサポーターズ(南羊ヶ丘町内会)
清田区	9名	手稲区	20名	平岡みどりの輪
その他	4名			豊平公園花とハーブの会
登録者募集中です!! 				市立札幌病院ボランティアの会 やさしさ・ジェントル
				東札幌病院ボランティアグループ いずみ
				園芸療法“ぐり～んの会”
				新琴似六番通街づくりクラブ
				環境サポーターズ「三次郎の会」
				花の会
				ガーデニング リラの会
				特定非営利活動法人 ゴールデン福祉会
				あいの里 花クラブ



まちのガーデナー紹介

大谷 昇さん（厚別区）



厚別区もみじ台のタウンガーデナー・

大谷昇さんは現在 84 歳。現役時代は土地改良や、農村・炭鉱・市街地の青少年や女性たちの組織育成などに携わり、58 歳の定年まで勤め上げました。

再就職先で、ヒマワリやトウモロコシなどの優良品種づくりに関わる仕事につき、植物への関心を深めました。かねてから、仕事の傍らに町内会活動に力を注いでいたこともあって、まちに花を植える活動を始めることにしました。以来、長年に渡って、奥さんと一緒に植栽や草取り、水やりといった作業を続けてきました。

現在は、もみじ台1丁目付近、南郷通沿いの 42 ヶ所の街路樹ますにヒマワリ、コスモス、チューリップを植えています。花の盛りの頃の写真をみせていただきましたが、ずらりと並んだ花いっぱいの街路ますは壮観です（お話を伺ったのは2月半ばなので、本物の花は

みられませんでしたが）。毎年、花の季節を楽しみにしている人がたくさんいるであろうことは容易に想像できます。もちろん「きれいな」と声をかけてくれる人っています。2008 年5月には、大谷さんの活動が認められて、厚別区クリーンさっぽろ衛生推進協議会より表彰されました。

「もう年だし、妻も病気がち、いつまで続けていけるかなあ」と大谷さん。今春からは、花の種類を減らし、組み合わせを工夫して作業の負担を軽くしようと考えているそうです。

「手伝ってくれる人がいればいいなあ」。

大谷さんの活動を支え、花いっぱいのまちの風景を未来につなげていく人が現れるよう期待しています。



大谷さんが植えたヒマワリとコスモス



ボランティア団体紹介

環境サポーターズ 「三次郎の会」

梅の名所として知られる平岡公園から西に 1 km 程離れたところに、背の高い生垣に囲まれた美しい庭園「平岡樹芸センター」があります。故・竹澤三次郎氏から土地と樹木の寄贈を受け、そこに日本庭園や庭木の相談所等を併設した公園です。

桜や紅葉の時期には多くの来園者でにぎわいますが知名度はあまり高くなく、近隣に住んでいながらご存じない方も多いそうです。そこで「この庭園をもっと身近で魅力ある場所にするお手伝いがしたい！」と、地域住民の方が集まって発足したのが、環境サポーターズ「三次郎の会」です。

月1度の除草、剪定やゴミ拾い等のメンテナンス

の他、会員のみなさんでアイディアを出し合い、老若男女に楽しんでもらえるイベントを企画しています。昨年の庭園コンサートでは、初めての経験ながら9名のスタッフで約250名のお客様をお迎えし大盛況でした。今年もいろいろなイベントを企画しています。お花や樹木が好きな方はもちろん、イベント運営に参加していただける会員を募集中です。一緒に楽しく活動してみませんか？



春の作業風景

代表者：紀伊国 敏子

連絡先：竹澤 美千子 TEL:011-881-1257

活動の話を聞かせて！

登録いただいているみなさんの活動を、会報やホームページでご紹介します。取り組み内容を伝えたい、仲間をもっと増やしたい、という方はぜひご連絡ください。

市民講座 「北国のガーデニング樹木」 に参加して

2月 17 日・24 日に、北海道立林業試験場と共催で市民講座「ガーデニングに使ってみたい北海道の樹木」「樹木の殖やし方」を開催しました。受講された東さんに感想をお寄せいただきましたので紹介します。



「庭の骨格は樹木である」といろいろな場面で耳にしていたのですが、自分の庭で樹木をどう利用すればいいのか知りたくて、この講座に参加しました。2週にわたる講座の先生は林業試験場緑化樹センターの方で、日々と向き合っているプロフェッショナル！

樹高がどの位か、生育に適した場所はどこか、また挿し木や種蒔きで木を殖やす方法もポイントがよくわかり、夜の講座でしたが、満員の参加者は熱心に聞いていました。

講義の中で、私たちが普段何気なく見ている植物の中には、日本全土からみれば希少なものもあるというお話があり、北海道ガーデンを目指すのであれば、何も外国産の植物を植えずに自生種で十分すばらしい庭がで

きること。寒さに強いベリー類は花も実も楽しめ、紅葉のきれいな種類もあるので北海道におすすだそうです。

いちばん興味を引いたのはカシスに関するお話で、人間が利用できるアントシアニンが多く含まれていること（ブルーベリーは0.03%しか利用できない！）、葉に香りがあり甲虫を防ぐ効果があること、果樹にしては日陰を好む（うちの鉢植えカシスはがらがら陽に当てていました…どうりで元気がない…）などなど豆知識ができました。

ハマナスやチシマザクラの改良にも力を入れておられ、チシマザクラは鉢植えで小さくても花が咲き、温度の管理をすれば北海道でも入学式に桜を見られるという夢のある話もあり、春になったらぜひ美唄の緑化樹見本園を訪ねてみたいと思っています。

（さっぽろタウンガーデナー：東 光江）



花と緑 の本棚

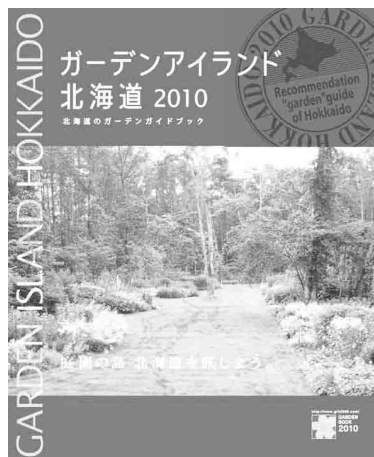
『ガーデンアイランド北海道2010』 北海道のガーデンガイドブック

北海道を美しい庭園の島にしようと、豊かな花と緑の空間の創造を目指して活動している「NPO法人ガーデンアイランド北海道（G I H）」から、今年も公式ガイドブックが発行されます。ガーデンアイランド北海道の登録会場の他、北海道の花の見頃一覧やイベントカレンダー、おすすめグルメ情報も掲載されています。

もうすぐ雪解け。さまざまな草花が各地で見られるようになります。この本を片手にお出かけしてはいかがでしょうか？ また、「G I Hメンバーが選ぶ 2010 年 私のお勧め宿根草たち」というページもあるので、植栽プランを立てるときにも役立ちそうですね。

そして、新たな企画として「花と緑の活動団体」の紹介ページがあります。これは、地域に根付いた

活動を行う団体に目を向けることは、“美しい庭園の島・北海道”の実現にとっても大切な視点である、という想いから企画されたそうです。もちろん札幌で活動しているボランティア団体のみなさんも紹介されているので、楽しみにしてくださいね。



発行：NPO法人
ガーデンアイランド北海道
販売開始：4月中旬
販売場所：主要書店および登録会場など
定価：400円（税込）



ブルーアース基金助成金

札幌市民の生活・文化の向上に寄与する、まちづくり並びに人づくりを目的として活動している団体に助成します。

◆テーマ：育てよう、札幌への熱い思い！

～明るい未来への挑戦～

（①事業費申請、②運営費申請の2種があります）

◆対象：NPO法人、任意団体、町内会などの地域団体（社団法人・財団法人は対象外）。活動を開始して1年以上経過しているか、それに相当する実績を持つ団体

◆助成総額：500万円（助成総額を上限に複数団体に助成する場合があります）

◆応募締切：平成22年5月31日（月）必着

◆申請書入手方法：ホームページでダウンロード

<http://www.sapporo-jc.or.jp/blue.html>

※札幌青年会議所事務局、NPOサポートセンター、ちえりあでも配布しています

ボランティア募集

「あるば・ローズ」

「あるば・ローズ」では一緒に活動してくれる方を募集中です。バラを育てる知識が増えますよ。

◆場所：大通公園西3丁目 泉の像 スポンサー花壇

◆内容：白バラ中心の花壇の植込・メンテナンス

◆活動頻度（予定）

植え込み作業 年4回（4/22・6・8・10月）

メンテナンス 5～10月・月2回・原則第2&

第4木曜・14：00～16：00までの間

◆問い合わせ：渋谷邦子（TEL/FAX 011-748-7325）

※なるべくFAXでご連絡ください

※ボランティア保険にご加入ください

掲載情報募集しています

イベント案内・ボランティア募集など、掲載希望の情報が
ありましたら、事務局にお知らせください。

情報締切：奇数月 15 日（次月と次々月の情報を掲載）

※都合により掲載できない場合もあります。

都市緑化基金・活動支援事業

1) 緑化ツタ苗補助

家庭や事業所などの壁面緑化を計画している市民にナツツタを補助します。

◆申込期間：4月6日（火）～4月20日（火）

引換期間：5月10日（月）～5月28日（金）

◆補助内容：植えこみ予定株数の半数を補助（最高15本まで・残りの半数は同時に購入していただくことが前提です）

2) フラワーポットの貸出

町内会・商店街等の緑化活動に対して、フラワーポットを無料で貸し出します。

◆受付期間：4月12日（月）～4月20日（火）

◆内容：フラワーポット（70cm×24cm×20cm）

1 団体20個～50個まで（貸出総数500個、申込多数の場合は抽選）、3年間、初年度のみ培養土と花苗を1ポットあたり5株提供

◆問い合わせ：財団法人 札幌市公園緑化協会

札幌市中央区北1条東1 ニューワンビル4階

TEL.011-211-2579

活動に必要なスキルをUP

毎月1回開催！

北海道NPOサポートセンターの講座

1) 広報・資金調達スキルアップ講座

資金調達につながる広報をめざしてスキルアップ。団体の機関誌やチラシをご持参ください。

◆日時：4月20日（火）13：30～16：30

◆定員：6名 先着順・4月15日（木）締め切り

2) ホームページ（ブログ）作成入門講座

ブログの活用方法や仕組みを少人数で学べます。団体のイベント情報、デジタルカメラで撮影した活動の写真などをご持参ください。

◆日時：4月14日（水）13：30～16：30

◆定員：5名 先着順・4月8日（木）締め切り

※5月以降の開催日程は、北海道NPOサポートセンターにお問い合わせください。

◆会場：北海道NPOサポートセンター会議室

（札幌市中央区南2西10丁目クワガタビル2F）

◆参加費：各講座 3,150円

◆対象：NPO法人、ボランティア団体の方

◆問い合わせ・申込：北海道NPOサポートセンター

TEL.011-204-6523 FAX.011-261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

【発行・編集】

さっぽろ花と緑のネットワーク事務局

札幌市中央区北1条東1丁目ニューワンビル4階

財団法人札幌市公園緑化協会内

TEL：011-251-3309 FAX：011-211-2577

E-mail:flowers@sapporo-park.or.jp

